

訪問診療

『歯科訪問診療をご相談ください。』

長野歯科医院
院長 長野 靖弘

現在、日本は『超高齢社会』であると言われています。

『超高齢社会』とは、WHO（世界保健機構）と国連の定義に基づき、国の総人口に対し65歳以上の人口（老年人口）が占める割合が21%を超える社会のことです。日本は、2007年にこの状態になりました。

2022年9月15日の統計では、老年人口の割合は29.1%で、その割合は増加傾向にあります。2040年には、この割合が39%になると予測されています。人は加齢に伴い、生理的老化によって、臓器機能の低下や恒常性機能の低下、病気の併存などの身体的特徴がみられます。また、個人差が大きいのも特徴といえます。



体力や抵抗力が弱っている高齢者の方や体が不自由な方にとって、口腔内の細菌は大敵です。むし歯や歯周病が発生・悪化しやすいだけでなく、口腔内の細菌が原因で誤嚥性肺炎を引き起こしたり、血管障害、心臓病、糖尿病などの疾患を引き起こすリスクもあるのです。

このような病気のリスクを避けるためには、定期的な専門家による口腔チェックやケア（口腔衛生管理）、必要であれば治療（口腔機能管理）を受けることが重要です。

「しっかり噛める」ということは、唾液の分泌を促進し、免疫機能の亢進や食物の消化作用亢進に役立つばかりか、認知症の進行を遅らせ、予防する効果も期待できます。また、認知症と歯周病との関わりも近年、言われています。

高齢者だけではなく、病気やケガなどで外出が困難な方や、身体が不自由、精神病などで外出が困難な方も、歯科の訪問診療を受けることができます。

歯科医院への通院が困難な方が対象となります。

お口の中が健康だと、生活の質が向上します。

美味しい食事を気兼ねなく食べる、家族や友人と会話が弾むということは、生きる上で、大きな楽しみや喜びの源となるでしょう。

歯科訪問診療について、制度や内容をご存じでない方が、まだまだ多くいらっしゃいます。



私たち歯科医療従事者の使命は、お口から安全に食べて頂くことの支援であると考え、受診者一人一人の尊厳の保持を大切にしたいと、日々努めております。

まずは、かかりつけの歯科医院にご相談ください。そして、地元の歯科医師会、ケアマネージャーや訪問看護師、病院の担当看護師、施設のケアマネージャー、その他、行政でも相談窓口を設けているところがあります。熊本県歯科医師会には在宅歯科医療連携室があります。依頼を受けると、対応可能な歯科医院をご紹介します。一番身近な方法で、ぜひお気軽にご相談ください。



次は菊池郡市医師会立病院 地域医療連携科 菅原様にリレーします。